

廿日大根と酸漿

女高師 大 岩 金

前回蕃茄に就て述べましたからその續きの意味で今回は、廿日大根と、酸漿ホホヅキのことを少し申します。

蕃茄と本題の蔬菜との續きと云ふ理由は、共に空地を利用するといふ方面から考へてであります。それで廿日大根と酸漿との二種を挙げましたのは殊に理由と申す程のこともありませんが強いてあげれば、廿日大根は、何時播種しても相當の收穫が得られるといふこと即ち空地さへあれば、すぐ實行出来るといふ意味と夏季に新鮮な蔬菜が容易に得られるといふ特點があることであります。

酸漿は小供のために、播種の期は失して居りま

すが、早いのはこの月末にもなりますとそろ／＼あちこちに出て參りますから附記致します。

一、廿日大根

品種

ラディッシュといふ名稱が廿日大根の總稱でありまして、明治初年頃歐洲から輸入されたものだけさうであります。要するに蘿蔔中の一品種にすぎません。

ローズターニップ、トライアンフといつたやうなものがありまして白・赤・黄・紫等の色がありますし、形にも圓形、長楕圓形、紡錘形等あります。

栽培法

栽培法と申しましても、要は空地利用であります。

すから、何も正規に従ふ必要はありませんが、このやうにして栽培するものであるといふ、根本の方法を承知して置きますのも、あながち無用のことでもありませんでせう。

土壌はやはり沖積土から出来た壤土か、砂質壤土が、最も理想的のものであります。砂土に失しますと生育も不充分で味も辛味を増すことになり、重粘にして過分に肥沃な土質であります。苦味が増すやうであります。耕勸も充分するに越したことはありませんが、本種は普通の大根のやうに特に深耕せねばならぬこともありません。

肥料も堆肥がありましたならば基肥として施しますが、この場合も、普通種のやうに、播種する場所と施肥する位置等を考へる必要もないやうであります。普通種の大根は地中に深く根が延びますから、播種する直下に基肥を置くことは避けなければなりません。施肥する方向は細根の生ずる

方向になりますから、普通種の場合には殊に、一方面からする方がよろしいのであります。廿日大根の場合には基肥として堆肥に速効性の肥料も混合して施す必要があります。播種後卅日もすれば收穫出来るのでありますから、遲効性のもものでは、肥料の効が充分にあらはれぬ内に收穫してしまふといふ結果になります。又播種する下に施肥して置きますと、肥料のある部分に、細根が出て大根そのものの外観はよくなりますし、施肥した養分もよく吸収されるのであります。

相當大きな面積に本種を栽培致しますには、畦幅、株間等のことも考へねばなりません。一般の場合

畦幅	五寸——七寸
株間	三寸——五寸
播種期	隨時
收穫期	約一ヶ月後

右表が標準になるだらうと信じます。

株間は播種する時には考へないで條播にしましてもよろしいと思ひます。無論この場合には基肥も、畦に條置致します。條播致しました場合には發芽して、成長するに従ひ間引きします。始めの頃の間引は「ツマミナ」として食べられますし少々成長しましてからは既に生食用の「サラド」として用ひられます。そのやうにして間引きながら利用しつつ前記位の株間を保たせます。

間引の注意としましては、生育の悪いものを間引きますと同時に、徒長するものも除去せねばなりません。根部の露出したもの、畦の外に生えたもの等も除かねばなりません。

前後しましたが夏季に播種しました際には、乾燥を防ぐために多少覆土を厚く（普通五分位覆土する）して、その上に切藁・刈草等を覆い、炎天による乾燥を防止しますと同時に、時々灌水もす

るのであります。又畦を切つて基肥を施し、人糞尿等の様な水肥を施しその上に二乃至三寸位土壤をかけ、充分に鎮壓しましたからその上に播種致します。然し濕潤の地でありますと、却つて高畦と申しまして、兩方から土を寄せ、五乃至六寸の高さの畦を作つてからその上に前記のやうにして播種する方がよろしいやうに思はれます。

廿日大根の病蟲害でありますが、何分發芽から收穫迄の期間が短かいたためさほど恐れる程のものもないやうであります。長い間運作しました場合とか、排水不良の土地とか、窒素肥料の過用或はそのやうな土壤に栽培した時に發生する「太鼓病」といふのがあります。これが發生しますと、結局は大根が腐敗しまして、惡臭を發しますし、大根そのものは中空になります。

傳染性の病氣でありまして、昆蟲とか野鼠等が傳染の仲介者のやうでありますから、是等を驅除

することは勿論でありますが、若し一度發病しました場合には、土壤を充分消毒すると同時に差支へなければ大根類の栽培を暫く中止するのがよろしいでせう。消毒としましては石灰、石灰窒素等の施用に依る方法があります。

昆蟲の害としましては先づ、アブラムシ、ハムシ、ノコギリバチ、ヨトウ蟲等が數へられます。

アブムシは大根そのものの生命に關する程のことでもないやうではあります。誠に五月蠅ものに相違ありません。然し放置して置きますと、生育を妨げる事は事實であります。どちらかと申しますれば乾燥した場合に發生する害蟲であります。

ハムシは直接葉を食害します。かの小孔が綠葉に出来るのはこの蟲の仕業であります。葉に一寸さはりますとピンと飛んでその所在をくります。金色の光澤を持つた小形の甲蟲類のものであります。然し此の蟲は秋期には全然被害しないやうであり

ます。

ノコギリバチ、ヨトウ蟲等は前者と共にどうも赤手で捕殺するより他に簡単な方法はありませんでせう。殊にヨトウ蟲の如きは、その名の如く夜間出て折角丹精して作った根部を盜食するのでありますから最も忌むべき害蟲であります。然し相當の大きさに成長しますれば、比較的此の蟲の害は受けにくいですむやうであります。殊に發芽後一週間位は口中強光に曝されて「グツタリ」となり終に恢復することの出来ないやうになりますから、そのやうな苗の根際を掘つて見ますとそこには大抵この盜が潜んで居ります。

收穫

あらためて申す迄もありませんでせうが例の間引きながら利用しますのも、その一法でありますけれども注意致しませんと生育がすぎまして、根部が固く、食用に不適當のものになります。殊に

夏季に於て早くそのやうになり勝てあります。それは氣候と肥料との關係で大差がありますが、充分に肥料が效をあらはした時、收穫しますと、根部の光澤はよく、味も好いものであります。前表の一ヶ月と申しましたのは極く一般の場合でありますから、時々一株位取つて試食するのが收穫の過期を知る良法かと思ひます。

食べ方ではありますが一般に最も多く用ひられますのは、「サラダ」としてであります。これは收穫して充分水洗し、根部を用ひます。夏季の食物として氣持の好いものの一つとして數へられませう。これは舌の味と申しますより見た口の味の方が主であります。葉部と共に鹽の一夜漬、もつと急を望みますならば、鹽もみにして味はうのもよろしく、氣長に糠漬等に致ししてもよろしいのであります。しかし何といつても本種としての尊重すべき味としましては新鮮なものでなければ

ならないと思ひます。

二、酸漿

酸漿の重なる用途は、心癆を抜いて玩弄に供するのでありますが、蔬菜又は一種の薬用として生食される場合もあります。

實を抱む袋は、莖部でありまして、これが甚だしく發達しまして外殻になつて居りますために外殻のある蕃茄とも稱されるさうであります。

種類には葡萄酸漿、苦蕒(センナリホホヅキ)ノキシヨ種等あるさうであります。前二種は生食或は漬物として用ひますし、メキシコ種は、生食よりも寧ろ薬用にするとのことあります。本邦の酸漿は丹波酸漿と申しまして、御承知の通り、地下莖が宿根しますので、根分て蕃殖も出來、管理も誠に容易であります。

害虫としては椿象の被害を受けることが應々ありますから外殻には果樹にしますやうな袋掛けを

して置けば最も安全であります。

宿根しません外國種でありますと三乃至四月頃播種しまして、苗を得てから定植致します。定植は普通一尺五寸位の畦幅で、株間は八寸位の距離に致します。

生育中は多量に窒素肥料即ち、人糞尿、油粕等の肥料を施用し、除草してやりますと同時に、椿象、二十八星瓢蟲等の被害から免れるやうに注意します。

このやうに致しますうちに早いのは七月下旬頃から收穫出來ます。

リトミックと純舞踊の

講習會

時 日、八月一日より八月六日まで。

場 所、午込原町成城小學校

講 師、小林宗作氏 石井 漢氏

中込所、午込區原町成城小學校内兒童音樂
園宛

會 費、各科五圓ツツ。二科とも中込の方

は七圓

「リトミック」それは舞踊でなく、音樂でなく、繪畫でなく、しかも純舞踊へ。純音樂へ、純美へそして人間の純教育へ歩み行き直さ道の出發點である。それは技術を覺えて傳へ得るものでない、が我等よりはるかに偉大な藝術家である幼兒の、生活の伴侶としての幼兒教育者に何か大なる暗示を與へるものではなからうか。講師小林宗作氏はフランスのダルクロワズリトミック學校に學ばれたる幼兒教育の同情者である。

既成の舞踊に非ず、純舞踊への基本練習、講師石井漢氏は舞踊家として世界的の名ある人である舞踊の理論的基礎と實際的基礎練習は。よりよき體驗を講習員に與へる事であらふ。